

コウノトリ

毎週月曜日更新



カタカタ通信

第211号

「空はなぜ座って休むの？」

2026年1月12日

展示場で過ごす2羽の様子を観察していると、空が地面に座って休んでいる姿をよく見かけます。脚を折って座る、いわゆる犬座の姿勢のこともあれば、ぺちゃっとお腹まで地面につけていることもあり、そのときどきで座り方にも違いがあります。



犬座の空

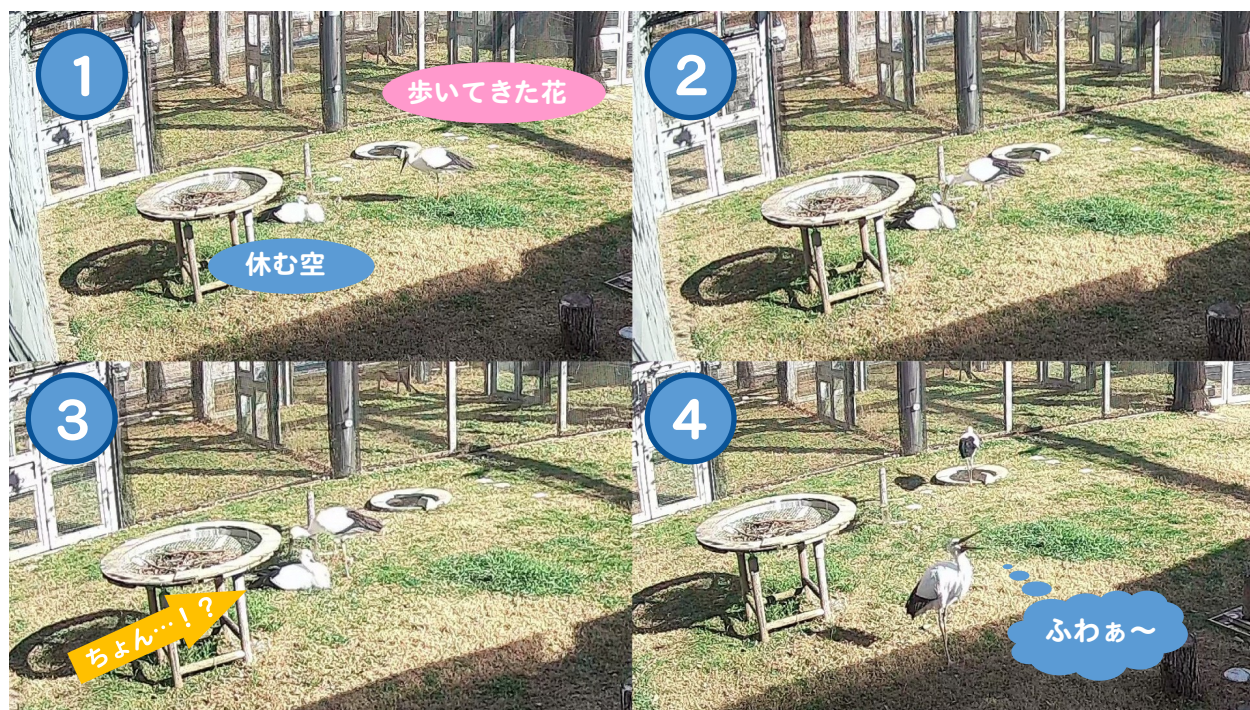


ぺちゃんこ座りの空

コウノトリは、ほかの多くの鳥と同じように、立ったまま休むことができます。そのため、卵を抱えているときやヒナを育てているときに巣の上で座る場合を除くと、基本的には立ったまま過ごしています。空も、立って過ごしている時間のほうが圧倒的に長いのですが、心地のよい場所を見つけては、座ってウトウトとしていることがあるのです。

一方で、花が地面に座る姿は、これまでほとんど見られていません。花は10歳、空は22歳と、花に比べると空は年上です。そのため、「少しくたびれてしまって、座った姿勢で休むことが多いのかな？」と思ったこともあります。ただし、はっきりとした理由が分かっているわけではありません。

先日、そんな2羽の様子がよく分かる場面がありました。空が、お腹を地面につけてぺちちゃんと座って休んでいると、おもむろに近づいてきた花が、空のお尻あたりをちょんちょんっと突いて起こしていたのです。空は、ふっと目を覚ましたかのように立ち上がり、あくびをしてから、ゆっくりと歩き出しました。何だか2羽の関係性を垣間見たような気がして、思わず微笑ましくなりました。



同じ場所で暮らしていても、過ごし方や行動にはそれぞれの違いがあります。よく見てみると、2羽がお互いを意識した行動をとっている様子も見られるかもしれません。空と花の違いや関係性にも、ぜひ注目して観察してみてください。よりコウノトリのことを深く知るきっかけになると思います。

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター
飼育担当：ほっぴー